

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	高齢者福祉課長 稲田勝	電話番号	0852-22-5236
----------	-------------	------	--------------

事務事業の名称	介護施設等整備事業（総合確保基金分）		
目的	(1) 対象	市町村又は民間事業者が行う介護施設等の基盤整備事業	
	(2) 意図	高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、地域密着型サービス施設・事業所等の整備に対して支援を行う。	
事業概要	消費税増収分を財源として造成された基金を活用して、介護保険事業計画に基づいて整備される介護保険施設等の整備費の一部を助成する。		

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名 整備実施施設数の割合	目標値		100.0	100.0	100.0	100.0	%
		取組目標値						
	式・定義 整備実施施設数/整備実施予定施設数	実績値	100.0					%
		達成率	-	-	-	-	-	
2	指標名	目標値						
		取組目標値						
	式・定義	実績値						
		達成率	-	-	-	-	-	

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費 (b) (千円)	317,944	576,486
うち一般財源 (千円)	0	0

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

平成27年度整備実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域密着型特別養護老人ホーム 1箇所（29床）</li> <li>認知症高齢者グループホーム 2箇所</li> <li>小規模多機能居宅介護事業所 3箇所</li> <li>地域包括支援センター 1箇所</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期巡回・随時対応型訪問介護事業所 1箇所</li> <li>看護小規模多機能型居宅介護事業所 1箇所</li> </ul>
------------	---	---

6. 成果があったこと（改善されたこと）

市町村と連携して、整備計画を適切に把握し、予算額を確保し、整備実施施設に対して助成することができた。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

- ①困っている「状況」  
本事業は、市町村が実施する介護保険施設等に対する補助事業であるため、事業予算の確保及び執行が市町村の意向に左右される
- ②困っている状況が発生している「原因」  
第6介護保険事業計画（H27～H29）に基づいて整備されることとなるため、市町村の整備計画を適切に把握していく必要がある
- ③原因を解消するための「課題」  
市町村における整備計画の進行管理について、情報を共有していく必要がある

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

本事業は、平成27年度から「医療介護総合確保基金」を財源として新たに構築された事業であり、引き続き市町村と連携して、整備計画の把握及び必要な予算額を確保に努め、整備事業が円滑に行われるよう支援していく。

9. 追加評価（任意記載）

・課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。  
・上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。